

生命と自然を軸に考える造形芸術による教育の可能性

2018. 11. 14 (水) 16:10 - 18:10

要・事前申し込み

東京学芸大学 W棟201教室

子どもの造形表現に出会い活動を共にするとき、私たちは子どもと共に生き生きとした充溢感を感じる時があるはずです。高度にシステム化された社会環境の現代にあって、そうした子どものエネルギーに触れることは、子どもの身体に宿る、自然の、いのちの、力動を感じているのだと言えるかもしれません。しかし、そうしたいのちの力動を生み出す造形芸術の活動原理を私たちは十分理解してきたでしょうか。生命と自然のつながりが、子どもたちを、子どもたちの生活を、そして社会を、一体どこへ導く可能性を持っているのかについて十分に理論的・実践的な展望を描いてきたでしょうか。今回、磯部錦司先生を講師に迎え、生命と自然を軸に、子ども、生活、社会のつながりを紡ぎ出し、断片化した関係性を包括的・統合的に捉え、表現し、想像・創造していく術としてのアートの役割と、造形芸術による教育の可能性について考えます。

16:10 講演 「生命と自然を軸に考える造形芸術による教育の可能性」

講師 磯部錦司 椛山女学園大学 教育学部 教授

主な著書:「子どもが絵を描くとき」(一藝社, 2006), 「自然・こども・アート」(フレーベル社, 2007), 「子どもとアート—生活から生まれる新たな造形活動—」(小学館, 2012), 「造形表現・図画工作」(建帛社, 2013), 「保育のなかのアート—プロジェクト・アプローチの実践から—」(小学館, 2014) 主な論文:「生命主義的自然観を基軸とした芸術による教育」(博士論文, 2018)

トークセッション

磯部 錦司

真木 千壽子 学芸の森保育園 園長

笠原 広一 東京学芸大学 准教授/美術科教育

18:10 終了

■助成: 公益財団法人日本生命財団 平成 29 年度委託研究

課題名「幼児教育における子どものアート活動を媒介とした多様性の涵養と親の学習支援プログラムの構築」

■主催・申し込み先: 東京学芸大学 (美術科教育学分野) 笠原広一研究室 [kasahara\(a\)u-gakugei.ac.jp](mailto:kasahara(a)u-gakugei.ac.jp)

※(a)をアットマークに変えてください。申し込み受付後に会場案内を送ります。

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 Tel & Fax: 042-329-7610